



学年間交流会

9月12日に1・3年、10月10日に2・3年の交流会を実施しました。3年生はこれまでの研究経験をもとに、テーマ設定や中間報告会に向けた取組について下級生に助言を行いました。1・2年生は先輩の経験談を聞く中で、次のステップへの意欲を一層高めていました。

また、3年生にとっても、自身の探究活動の難しさや面白さを後輩に伝える中で、論文作成において「読み手にわかりやすく伝えるにはどうすべきか」を改めて考えるよい機会となりました。



【熱心な意見交換】

SSH探究Ⅱ 中間報告会

11月7日、本校体育館・特別教室で2年生による探究活動の中間報告会を実施しました。2年生の発表に対して、3年生はこれまでの自分たちの探究活動を振り返りながら、今後の指標となるような助言等を行い、1年生は発表を聞いてテーマ設定の参考にするなど、「郷中教育」の一環としての側面もある行事となりました。また、外部からは大学の先生方をはじめ、課題研究協力員を含む22名と留学生4名が参加し、専門的な視点から多面的なご指導をいただきました。

専門的な見地から多くの意見をいただいた2年生にとって、今回の発表会が探究活動をさらに深める契機となることを期待しています。



【探究内容を説明する2年生】

卒業生による探究ワークショップ

9月18日、60期生の吉山さんの企画のもとに、卒業生による探究ワークショップを開催しました。「問の設定」や「自ら答えを探究する方法」についての紹介があり、約20名の参加者が模造紙と付箋を使って体験的に学びました。本校では、探究活動に卒業生が携わってくれる機会があります。在校生の皆さんも卒業後、ぜひ後輩たちとの関わりを持ってくれるよう期待しています。



【生徒たちに説明している卒業生】

生徒理科研究発表大会

10月28日、カクイックス交流センターで開催された鹿児島県生徒理科研究発表大会に、科学部の物理班「なぜ輪ゴム鉄砲の輪ゴムは的に当たらないのか」と地学班「なぜ水はけの悪いグラウンドなのか」が出場しました。その中で、物理班が部門最優秀賞に輝き、全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）及び九州高等学校生徒理科研究発表大会（大分大会）への出場権を獲得しました。

この大会は探究班からの出場も可能です。1年生は来年探究班での出場に挑戦してみませんか。



【大会に参加した科学部】